

'83関東ゴルフ連盟機関誌

# KGAニュース GJA



## 目次

KGA今昔	1
元KGA理事長 安田一	
ルールQ & A	3
解答者:日本ゴルフ協会、アマチュア資格審査委員長 浜口五郎	
第34回関東オープンゴルフ選手権競技	6
昭和58年度関東ジュニアゴルフ選手権競技について	13
関東ゴルフ連盟・ジュニア委員長 松野京三	
58年度夏季ジュニア初心者ゴルフ教室	17
第30回関東倶楽部対抗選手権競技レポート	18
理事会・委員会	22
月例競技成績表	27

No.4

# KGAの今昔

安田 一

## 昭和39年KGA理事長就任にあたって

昭和39年、その頃JGAの下には東西二つの連盟(KGA、KGU)があるのみでしたが、次第に全国的に増加しつつあった各クラブを全部網羅して、JGAを一本化しようという強化策が寄り寄り協議中でした。これについては後程改めて述べることとして、当時のKGA理事長小寺西二氏が理事長をやめ、今後はJGAの専務理事としてこの実現に努力することとなり、その後任として私に就任方を要望がありました。私はその任に非ずとして再三のご推薦をお断りして来ましたが、己むを得ない事情もあって8年余り理事長をお引き受けしたことがあります。

そのようなことから先頃KGAよりその頃の思い出などについて、何か書くようにという話がありましたが、何しろ20年前のことでもあり、大分記憶も薄れて来ているので、多少の間違いなどもあるかと思いますが、何とかその責めを果たしたいとペンを執った次第です。

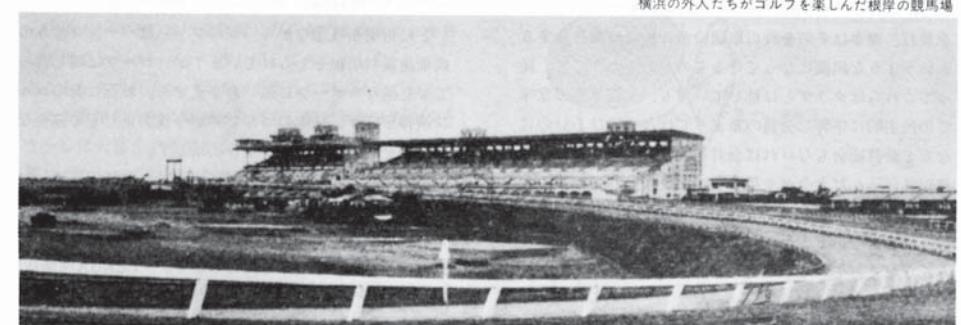
## 昨今の華やかさとはほど遠く……。

当時のKGAの加盟クラブ数は僅かに70に満たなかつたのに比して、現在は300クラブを越えていると聞いて全く今昔の感に堪えません。また連盟に加盟するに要する入会金は僅かに20万円、年会費にても10万円、会費収入合計が700万前後では連盟の台所は火の車のようで、従って関東プロや関東オープンのプロに対する賞金も(当時はプロ協会は独立しておらず、連盟の主催下にありました)1等が僅かに50万円、10等1万5千円位しか出せなかったのです。

昭和32年霞ヶ関で行われたカナダ・カップ以来、ゴルフブームも急上昇しましたが、それまではプロの競技さえもギャラリーは数えるばかりで、従って勿論入場料も取れずスポンサーもありません。しかもマッチ・プレーの競技などでは、最終日ともなると決勝に残った二人の選手以外は殆んど集まらず、華やかな昨今の表彰式とは全く違って、まことに閑散としたものでした。



カナダカップに優勝した“寅さん”こと中村寅吉プロ



横浜の外人たちがゴルフを楽しんだ横岸の競馬場

## 競技色よりは親善色が強かった関東倶楽部対抗

関東倶楽部対抗にしても文字通りクラブ間の親善を目的としたもので、従って数週間も前から練習に練習を重ねたり、競技当日にしても目の色をかえて戦うといったこともなく、数が少なかったせいもあって互に顔馴染の間柄が多く、中には冗談を言い合ったりして極めてなごやかな雰囲気でした。この親善を目的とした対抗試合の気分は、現在関東七倶楽部対抗に残っているようです。

冒頭で触れました通り、当時のJGAの強化改組案については、石井光次郎JGA会長、野村駿吉副会長のもとで、小寺、乾両専務理事を始め四角、岡田、横田(正)、細川、加藤、私の他、中部・九州の代表として佐々部、安川その他の人達も屢々集まって検討した結果、前後10年近くの年月はかかりましたが、現在のような全国的な大組織が出来上ったわけです。KGAとしても現在300を越える大世帯となつた大発展振りには、心から敬意を表する次第です。従って経理面では昔と違ってご苦心もないようで何よりと思いますが、一方に於ては公益性を持った社団法人と、當利を目的とした株式組織など、根本的に性格の異なる各クラブを抱えての連盟の運営には、大変なご苦労が多いことと推察致します。

## 民主的に、平等な会員の集りの原則を貫く

例えば20年前当時の加盟クラブの入会資格審査に当つては、(1)クラブの定款として、理事は会員総会に於て選任する、(2)理事長は理事の互選によるという条件が守られて加盟が許可されたのでしたが、今日では殆んどの加盟クラブのバックには、観光会社やら私鉄やら、中には銀行までがスポンサーのような形で存在して居り、或は最初から営利を目的としたオーナーが実権を握った株式会社があって、定款によってその社長がクラブの理事長を兼ね、理事はその会社の取締役会に於て推薦任命するというような組織になっているものもあるようです。従ってこれらはクラブとは称していても、実質は眞の意味での民主的に平等な会員の集まりではなく、ひどいのになると会員総会もなければ会計報告もない、会員は自分達が払い込んだ入会金や年会費がどう使われているのか他に流用されているのかどうか、知る機会も全くないというクラブもあるようですが、こんなクラブの会員達はよくみんなだまっているものだと不思議に思う位です。

## 長くなったプレー時間への杞憂

もう一つ、「KGAニュース」6月号に金田武明君も書いていましたが、最近目に余るスロー・プレーについて一言付け加えたいと思います。昔は1ラウンド3時間半が最高でしたが現在では4時間が普通で、悪くすると5時間はそれ以上かかることがあるのはうんざりさせられます。色々原因もあるでしょうが、私はテレビの実況中継放送の影響もその一つであると思います。1パット何百万もするプロの試合を見て、只それを真似ようとする人の多いこと。書く迄もなくああいう大試合と日常アマのプレーとは自ずと異なるわけです。パットにしてもあちへ行ったりこっちへ行ったりして芝の目を読むのに時間をかける。いよいよスタンスを取っても足に根が生えたのかと思う位動かない。大体人間が動作を停止して緊張を続けることの出来る時間は、せいぜい10秒か15秒が限度だということを或る専門家から聞いたことがあります、30秒近くもねらって動かない人を見掛けることがあるのは驚かされます。

ゴルフ規則の「第一章エチケット」の中の最初の項に「他のプレーヤーに対する配慮」として「プレーヤーは、すべての人のために、迅速にプレーしなければならない」とあり、「第37条、7の不当の遅延」の項では、「反則に対してマッチ・プレーはそのホールの負、ストローク・プレーは2打付加、累反の場合は競技失格」という厳しい罰則のあることをもう一度認識したいものです。

かつてニクラウスでさえもこれを適用されたことがあります、小寺氏も杉本プロに対して厳しい罰則を科したことがありましたし、最近アメリカでは非常に厳しい処置を勧めています。

## ゴルフの明日は、眞のゴルフ精神から

とにかく現在残念ながら、ゴルファーはパチンコ並みの娯楽施設利用税をとられていますが、ゴルフは何と言つても立派なスポーツに違いありません。お互に眞のゴルフ精神を守り、日本のゴルフ界が今後共正しくて健全なる発展を遂げられるよう望む次第です。

最後に私のKGA理事長在任中、特に故横田正成、加藤英夫、細川謙貞、故本田泰の四氏には常務理事として格別お世話にもなり、また助けて頂いたことを付記し、感謝の念を捧げて終りといたします。（元KGA理事長）

## Q-1 アウト・バウンズの球：プレーすると誤球の プレーとなる

ストローク・プレーである競技者がOBラインぎりぎりの場所から第2打を打ちました。ところが打ち終って歩き出してから、OBの杭が1本、喰い込んだ場所に立っているのが見つかりました。そのOB杭を通して第2打をプレーした場所を見通すと、それは完全にOBゾーンであり、OBの処置をするためにティ・グランドから第3打を打ち直してそのホールを7にまとめました。ところが同伴競技者はOBから打った打数が入っていないじゃないかといいます。この場合、OBの中から打った打数は数えるものでしょうか。

A-1 その競技者がティに戻ってアウト・バウンズの処置をとったことは正しかったのですが、その前にアウト・バウンズの球をプレーしております。

アウト・バウンズ区域に停止した球はプレー外の球となりますから、その球をプレーすると誤球（注を参照）のプレーとなります。誤球のプレーは2打の間ですから、その競技者はティから5打目をプレーしたことになり、スコアは2打増えて9となります。

(注) 誤球とはイン・プレーの球、暫定球またはストローク・プレーで球の処置について疑いのあるときにプレーする第二の球、あるいは重大な反則に該当するような誤所からプレーしたと思われる場合に失格から免がれるためにプレーする第二の球以外の球をいいます。

## Q-2 グリーン上に置いた旗竿：球が当たりそうに なっても取り除けない

グリーン上でパットをするとき、1番遠いAが旗竿につきそってくれたプレーヤーBに「旗竿は抜いていいよ」と指示、Bはその旗竿を邪魔にならないようラインを外して旗竿をグリーン上に横に倒しておきました。

ところがAの打ったパットが予想外に切れ込んで寝かせてある旗竿の方向に転がったので、気をきかせたプレーヤーCは大急ぎで旗竿を拾い上げました。お蔭で球は旗竿に当らないで済みましたか、同伴競技者からクレームがつきました。

この場合、誰に何打の間がつきますか。

A-2 CはAの球の動きに影響を与える行為をしたことにより2打の間が課せられます。

参照一規則17条4（球に与える影響）。

## Q-3 バッグにかぶせてあるタオルを取り除いて中身を調べることはアドバイスを求めたことになる

よく、他人のバッグの中をのぞき込み、どのクラブを使っているかを確かめるプレーヤーがいます。中にはバッグにかぶせてあるタオル等を取り上げてまで他人のバッグをのぞき込む人もいますが、こういった行為はどこまで許されるのでしょうか。

A-3 他人のバッグの中を観察することによって使用クラブの情報を得る限りにおいては違反行為となりませんが、秘密保持のためにバッグにタオルをかぶせてあるときにそれを取り除いて中を調べることはアドバイスを求めたと同じ行為と認められ違反行為となります。

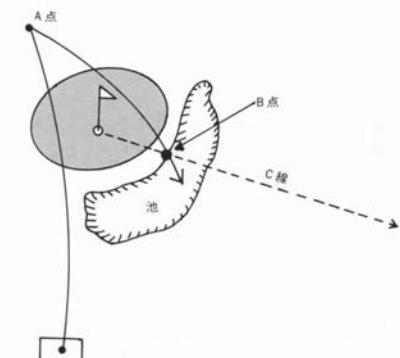
参照一規則9条1a（アドバイス）。

## Q-4 グリーンをオーバーして池に入った球の処置

グリーンの手前に池のあるショート・ホールでAは池を気にしてティ・ショットをグリーンを大きくオーバーさせてしまった。続いての第2打のアプローチをトップして再度グリーンをオーバーし、グリーン手前の池に入れてしまいました。この場合、Aは次のショットを何処からプレーしたら良いか、次の2つの場合を分けてご明示ください。

①その池がウォーター・ハザードの場合

②その池がラテラル・ウォーター・ハザードの場合



# ルールQ&A

質問の状況では次の如き処置となります。

- A-4** ①池がウォーター・ハザードの場合は、A点から1打の罰で打ち直すか、あるいはホールと球が境界を横切ったB点とを結んだC線上に1打の罰でドロップするか、いずれかの方法が選べます。  
②池がラテラル・ウォーター・ハザードならば、上記①の方法の他にB点からホールに近づかないで2クラブ・レンジス以内に1打の罰でドロップできますが、現場はホールに近づかないでドロップする場所がありません。また、B点の対岸でホールからB点と等距離の場所もありません。従って、ラテラル・ウォーター・ハザードだけに許された処置は使えませんので①と同じ処置となります。

**Q-5** グリーン・エッジのボール・マークは、球の通路になるかもしれないときは修理すべきでない

地面にくい込んでいる球を拾い上げてドロップした後、再びその穴に入る

ある雨上りの日、アプローチしたボールがグリーン・エッジに落ち、その落下の勢いで土にめり込んで止りました。やって来たプレーヤーは、フェアー・ウェイで地面にめり込んでいる球の救済を受けるため、ボールを無罰で拾い上げた後、そのボールを拾い上げた後の穴を平らに直し、それから改めてボールをそこにドロップしました。ボールは直した地点の横に止り、そのプレーヤーはバターピンを狙ってプレーしました。

しかしこれには同伴競技者からクレームがつきましたが、これはライの改善になるのでしょうか。

また、その穴を直さなかった場合、ドロップした球が、またその穴に転がり込んでしまうこともあると思いますが、その場合の処理はどうしたらよいのでしょうか。

**A-5** 1. そのプレーヤーは、球をドロップしてから

バターでホールを狙ってプレーしたことは、球の落下によるくぼみがプレーの線上になつたら困ると考えて直したかもしれない。もし、そうであったならばプレーの線の改善を意図したものであり、反則の対象とすべきでしょう。

また、善意に解して、グリーン上のボール・マークは修理できるので、グリーン・エッジで地面にくい込んでいる球を拾い上げた後で反射的に錯覚を起し修理してしまったのかもしれないが、いずれにしても罰は免か

れないと解すべきです。

2. 地面にくい込んでいる球を拾い上げ、できるだけ近い所へドロップした球が、転がって拾い上げた元の穴に入った場合は、最初にくい込んでいた程度にまで穴にはまつたならば、罰なしに拾い上げて再ドロップができます。

参照一規則17条1 (プレーの線またはライの改善を禁止)。

**枝に止まった球をアウト・バウンズへ打ち込んだときの処置**

あるホールでAはティー・ショットをフックさせ、左の林に打ち込みました。ボールを探したところ、木の上に止っているのを見つけ、しかもなんとかクラブが振れる位置だったので、そのまま木の上のボールを打ちました。ところがボールは思わず方向に飛び出し、別の木に当って左のO Bゾーンにはね返りました。AはO Bの処置を取るのにそのボールのあった枝の真下にドロップして再プレーし、うまくグリーンに乗せ、2バットでホールアウトし、そのホールのスコアを6と記入しましたが、スコア提出の前に競技委員にその旨の報告がありました。この場合の処理はどうしたら良いかお教えください。

**A-6** 樹上の球をプレーした後、その球がアウト・バウンズになったのですから、ホールに近づかないで前位置にできるだけ近い所に1打の罰を受けてドロップすることになります。

質問の場合、前位置にできるだけ近い所は球のあった枝の真下でしょうから、そこへドロップしてプレーを続けたプレーヤーAの処置は規則に適合しております。

即ち、ティー・ショットの1打、枝上の球の1打、アウト・バウンズの1打、前位置から直しの1打、グリーン上のバット2打で合計6打でよいことになります。

参照一規則29条1 a (アウト・バウンズの処置)。

**Q-7** 全面に水のあるバンカーに入った球は水の深い所で救済を得られる

雨の続いた日のプレーでAは水のたまつたバンカーに打ち込んでしまいました。そのバンカーはほとんど水に覆われておりましたが、球の後方に水の浅くなっている部分があったので、Aは球をその水の浅くなった部分にドロップしてプレーをすることに決めました。

それを見たプレーヤーBは、カジュアル・ウォーターの救済を受けるならば、カジュアル・ウォーターを避けた

場所にドロップしなければならないハズだ。バンカー内はすべてカジュアル・ウォーターだから1打付加してバンカー外にドロップするより方法はないと言張ります。この場合の救済方法についてお教え下さい。

**A-7** バンカー内のカジュアル・ウォーター内に球が入っているときは、バンカー内で罰なしに救済を受けるか、または1打の罰を受けてバンカー外で救済を受けるかの選択があるわけです。

もし、バンカー内で救済を受けるならば、球の前位置にできるだけ近く、かつホールに近づかないで最大限の救済を受けることができます。質問の場合、プレーヤーAにとっては水の深い所が最大限の救済の場所であったわけです。

通常、修理地やカジュアル・ウォーター等から救済を受ける場合はその区域の外で救済を受けなければなりませんが、バンカー内とグリーン上は「最大限の救済を受けられる」という言葉を用いていることに注目して下さい。つまり、その範囲の中で最大限の救済が許されているわけです。

参照一規則32条36のイ (ハザード内の救済)。

**Q-8** 球にアドレスしなくともスタンスをとった後で動いた球は誤って動かした球とみなすべきである

私は斜面にボールが止っているときは、クラブのソールを地上につけず、ヘッドを浮かせた形にして構えるようにしています。これは、クラブのソールをつけるとアドレスしたことになり、それ以後にボールが動いた場合は1打付加して球の止ったところからプレーしなければならないという規則にひっかかるよう用心しているからです。

ところが、先日たまたまクラブのヘッドを浮かせて構えていたら、ボールがころころと10cmばかり転がってしまいました。私はまだアドレスしていないのでその球を無罰でリプレーしようとしたが、同伴競技者ははたとえクラブヘッドを浮かせていても、球から1クラブ・レンジス以内にいたのだから、球の動きの原因になっていたと見なし、1ペナルティーを加えるべきだと主張します。これは、球から1クラブ・レンジス以内のルース・インペディメントに触れた場合のことを云っているのだと思いますが、特にルース・インペディメントに触れた覚えがない場合は如何なものでしょうか。

# ルールQ&A

**A-8** プレーヤーがスタンスをとり、かつクラブを地上につけたとき、ハザードにおいてはスタンスをとったときに球にアドレスしたものと認めます。その後に球が動いたならば1打の罰を受けて球の止まった所からプレーを続けなければなりません。

質問のプレーヤーは上記のことを心配して、クラブ・ヘッドを地面から浮かせてスタンスをとったまでは予定通りだったでしょうが、その後に球が動いたことはスタンスをとったことが球の動きに原因したものとみなされ、誤って動かした球に対する罰1打が課せられて、その球はリプレーしなければなりません。また、ルース・インペディメントに触れた覚えがなくても結果は同じです。参照一規則27条1 d (誤ってプレーヤーが動かした球)。

27条1 e (ルース・インペディメントに触れた後で動いた球)。

下記の関東ゴルフ連盟宛てに、ゴルフに関するご質問をお気軽にお寄せください。

〒100 東京都千代田区丸ノ内1丁目1番1号  
パレスビル6階(606号)  
関東ゴルフ連盟

# 第34回関東オープンゴルフ選手権競技

●期日 9月1日(木)~4日(日) ●コース 穂高カントリークラブ ●参加者 アマチュア 24名 プロ 104名 合計 128名

「長野県で開催する初の公式戦」これがことしの関東オープン最大の謡い文句だった。とにかく長野県で開催されたトーナメントとしては、諏訪湖カントリークラブで毎年開催している長野県オープンが最大の規模である。その長野県で関東オープンがどう受け入れられるのか、最終的に開催場所を穂高カントリークラブに決定するまで、関係者の間では常にその点に討議が集中したものだった。

だが、関係者の感じていた不安は、準備段階で早くも吹き飛ばされた。7月末の時点で早くも前売券（4枚綴り1冊6,000円）13,000冊以上を売り捌き、パンフレットの広告は5,000万円を突破していた。穂高の関係者の努力と、長野県下35コースのパック・アップも並々ならぬものがあったに違いないが、それと同時に地元の熱気がモロに感じ取られたのである。

開幕すると同時にその熱気はギャラリーの数となって現われた。トーナメントの初日、2日目は、どの大会でも入場者の数は微々たるものだが、この穂高では1日目の入場者が1,538名、2日目が2,261名、3日目は4,341名、最終日となると8,777名の大ギャラリーがつめかけた。この数は他のトーナメントと違って一切の水増し掛値無しの実数だから大変なもの。各日の入場者数ともども、今までの関東オープンの記録をすべて塗り替える凄さだった。



持参したお弁当を食べながら試合見物。



今年から、コンピューターを導入。スコアの結果も終了と同時に報道関係に配られ好評。

この盛り上りは、大会のスリリングな競い合いが一層ギャラリーの熱気に火をつけた。

フェアウェイをしばり、ラフは本来のラフらしく伸ばした穂高のコースは、普段のコースとは見違えるようなタフなコースに一変していた。特に10~15センチに伸びた野芝のラフは、プロでも手こずった。

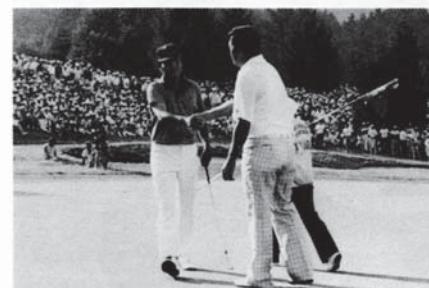
「こんなにプロをいじめなくても良いじゃないか」

指定練習日に手当たり次第に係員に噛みつくプロもいた。良いショットは報われ、ミス・ショットはペナライズされる、これが本来のゴルフ・コースである。普段ラフまできれいに刈込んであるコースでばかりプレーしているプレーヤーだったら、確かに手に負えないコースに違いない。しかし参加者はすべて同一条件であり、与えられた条件を如何にこなすかがプロ達の見せ場もある。それを競技も始まらない前からコースの仕上りに難癖をつけるとは、まさに最低のプロである。

第1日にはジャンボ尾崎が飛び出した。昨年度の大会で、この穂高と同じようにタフに仕上げられた富士小山で久し振りの優勝をさらった尾崎だけに、タフなコースばかりの関東オープンには相当な自信を持っているのだろう。しかも前週、前々週と2位を続けて上り調子になっている。スタートの10番から3連続バーディーと快調なスタートを切り、14番も1メートルを沈め、16番のロングホールではフェアウェイ左のバンカーから200メートルを4番アイアンで2オンさせて楽々とバーディーをもぎとり、インは5アンダーの31、難ホールの続くアウトでは1バーディー2ボギーの36にまとめて1日目は4アンダー67、2位の謝敏男、川俣茂、弟の尾崎健夫らに3ストロークの差をつけた。



プレーオフ16番ロングホール、2打目をハザードぎりぎりの所から靴をぬいでショットをする新井。ギャラリーから大拍手。



プレーオフの1番で2オンした尾崎だったが、バーディーパットを1mオーバーし、かえしもはずして2位に終った。

3人のうち、一番先に脱落したのは新井である。グリーン手前に池のある16番ロング・ホール、2オンした他の人に対して新井は2打が池、片足を池にスタンスを取り、果敢に挑戦したが、第3打をトップしてギブ・アップ。藤木と尾崎は16、17番と相手を抜き、勝負は再度18番へ。グリーン手前から1メートル80に寄せた藤木に対し、ラフから2オンさせた尾崎は約8メートルの第1パットが狙い過ぎてやや強く、1メートルばかりオーバーさせた。たんたんとプレーする藤木はこの後、1メートル80のパットを無難に決める。

「もう一度、プレー・オフのやり直しか…」

ギャラリーの誰もが腰を浮かせた時、尾崎の短かい1メートルのパットがカップを通り過ぎ、尾崎は三週連続の2位、藤木の2週連続優勝が決った。藤木にとっては「初の公式戦タイトル」、まるで手放して喜んでいた。



細川大会委員長よりトロフィーを受ける藤木。





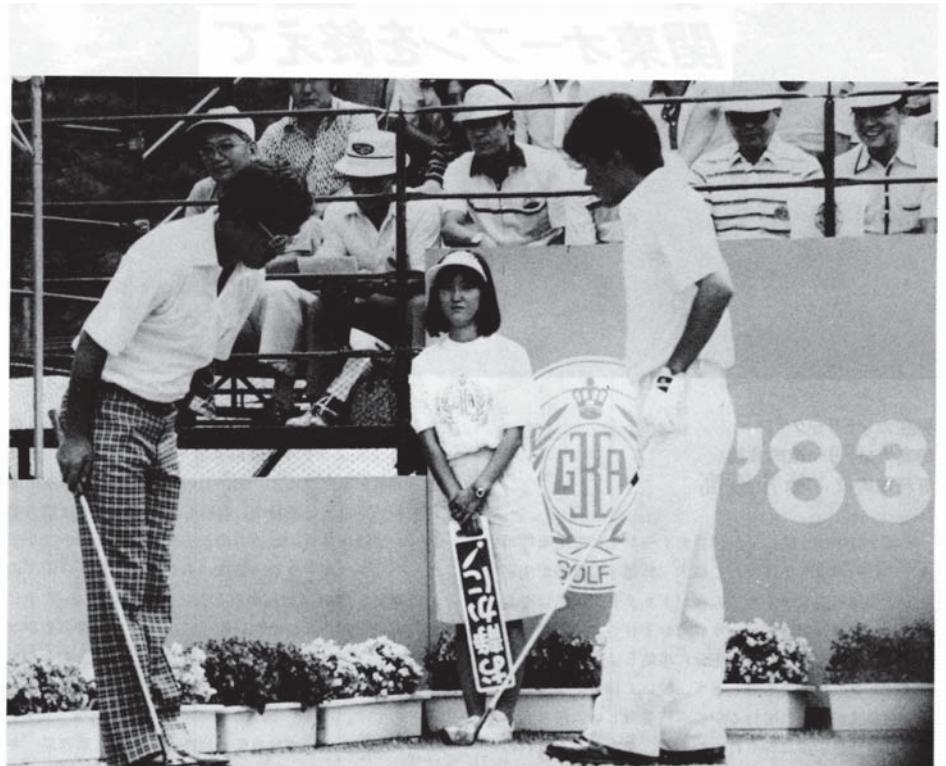
プロに混じって大健闘の中島和也、11位はお見事。

しかし、このタフな穂高では何が起るかわからない。2日目、アウトを手堅くパーにまとめた尾崎が、インでは10番で第1打を右にO.B.、続く11番では3パットするなど荒れ出し、前日31を出したインを41と叩いて後退、トップには2アンダー140ストロークで川俣が進出、2位に川田時志春が続いた。そして前年度は尾崎と優勝を競り合った羽川豊がショットがぶれてこの日で予選落ち、森恵二、矢部昭なども姿を消してしまった。

成績順でスタートする3日目、注目的となったのは最後から2組目でジャンボ尾崎とジェット尾崎（健夫）の兄弟が顔を合わせれば、その前の組では中島常幸とア

マチュアで頑張る弟の中島和也が組んでいた。兄弟の組合せが2組も出来上ると、それが好成績なだけに希なことだろう。そしてこの兄弟の顔合せが、果たして兄弟対決となるか、兄弟コンビとなるかが面白い見物だった。

アマチュアの末弟と一諸の中島は、さすがに長男の責任を感じてか、弟のプレーに気を使う。「弟がパットをしているときは、ギャラリーが動かないよう願ったよ」となかなかの思いやり。とにかく米国遠征から帰国してその足で穂高の会場に到着したのが大会の前日午後のこと、一回の練習ラウンドもせず、ブッツケ本番での難コースに臨み、なおかつ弟の面倒も見ながら上位に喰い

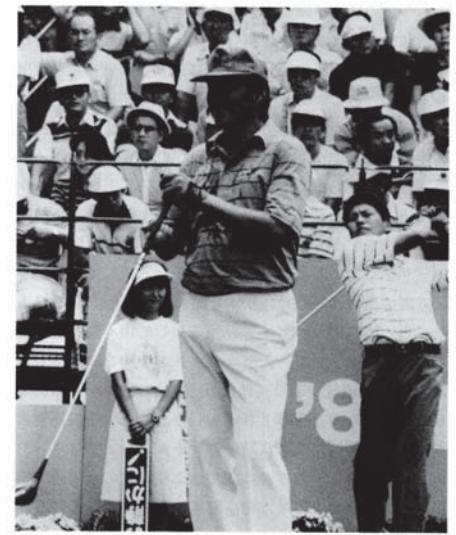


3日目、尾崎と同じく中島も兄弟同じ組。「今日は和也のためのゴルフをしてやる」と兄弟愛を見せ、「ヨロシク!!」のあいさつにギャラリーから拍手。

込んで来る中島常幸の実力は、やはりたいしたものだ。

「弟はバンバン突き放してやるよ」とジャンボ尾崎の方は兄弟対決ムードである。アウト3ボギーを叩いたジャンボは、弟ともほとんど口をきかない。しかしその尾崎が10番のイーグルで息を吹き返し、その後、11、15番とバーディーを出してこの日のベスト・スコア70をマークし、通算1アンダーで再度トップに返り咲いたのである。

最終日の競り合いはなお一層熾烈さを増し、トップは目まぐるしく入れかわった。前日トップに返り咲いた尾崎が1番でダブル・ボギーの後、4ボギーを追加してアウト41と大荒れで後退、かわって前日2位の川田、3位の新井規矩雄らのトップ争いとなり、それに8、9番でバーディーをものにした藤木三郎が追い上げて来た。インに入ると一度は脱落したジャンボ尾崎が16番のイーグルで息を吹き返す。しかも他を2ストローク離してイーブンのスコアを守っていた新井が、17番のショート・ホールでティーショットを左のクリークに落してダブル・ボギー、ついに通算2オーバー286ストロークで藤木、尾崎、新井の3人がトップに並び、16番からのプレー・オフに持ち込まれた。



3日目、兄弟同志の戦い!! スタート前「弟でも敵だ!!たたき落してやる」とジャンボ。



# 関東オープンを終えて

最終日、朝早くからつづけた大ギャラリー。  
穂高カントリークラブ  
穂高カントリー株式会社  
専務取締役 藤井義高

9月4日午後4時15分、18番グリーン上にて尾崎将司選手のバーパットがはずれて藤木三郎選手の優勝が決定し、昭和58年関東オープンの幕が下りました。思いもしなかった試合展開でプレーオフのおまけつきの白熱した試合となり、ギャラリーも充分に堪能し、今後も折にふれて語り草になることでしょう。続いて18番グリーン上にて表彰式が行われている中で、残暑厳しい太陽も北アルプス常念岳の陰にかくれつつあり、あたりは夕暮れの信州の高原の涼気が漂い始め、やっと終ったんだなと一瞬力が抜けたような虚脱感を覚えたものです。それと同時に今迄の経過が頭をよぎり感慨無量がありました。

昭和54年に当クラブ理事会と会社で関東オープン誘致を決定し、その年の12月にKGAに最初の誘致申請を提出して以来、あしかけ4年かかりの大事業でした。

県内ゴルフ場のご協力を仰ぐにあたり、長野県ゴルフ連盟の幹事クラブである諏訪湖CCの寺島理事長、藤原副理事長(KGA常務理事)、上田副社長、平林支配人から一方ならぬご尽力を頂き当クラブ青木理事長、小林社長、上條支配人と共に県内全ゴルフ場にご協力依頼の挨拶回りをしたのもついこの間のような気がしております。又近隣の塩嶺高原CC、松本CC、千曲高原CCでは大会に当って応援キャラディーの派遣をして頂くなど親身のご協力を頂きました。大会コースメンテナンスに関してはKGAの福田競技委員長他役員、委員の方々が遠路何回も来場をされてご指導下さいました。一方大会の運営面では矢野事務局長他事務局の方々やダンロップスポーツエンタープライズの方々に細かいご相談にのって貰いました。地元では長野県、穂高町、長野県信連、あづみ農協等の物心両面にわたるご援助も忘れられません。このような地元関係筋の協力体制の上に、今大会のテーマで

あるローカル色豊かな「メンバー手作りの大会」という精神に基づき、クラブ理事長以下全メンバーと会社が一体となって事を運ぶために、約70名の準備委員会を作り準備に当たり、更に実行委員会に移行し大会に当っては協力委員として競技運営にご協力頂きました。慣れないフォアキャディーやギャラリー整理にあたられた黄色い帽子の協力委員と、KGA競技委員と共にトランシーバー片手に競技委員を勤められた白い帽子の当クラブ委員の姿をコース内で、又はテレビの画面で見た時、今大会のテーマ実現に少しは近づいたのではないかと密かに自負しておるものでした。

目に見えない所では支配人以下コース課、事務局、キャラディースター室、食堂、総務庶務関係等の縁の下の力持ちの従業員の早朝から夜遅くまでの努力も忘れられません。

テレビ放映に備えてNHKのスタッフは十日も前から準備に当られ、又ギャラリースタンド、テント、看板等の設置やギャラリー輸送に当られた業者もそれぞれ真剣に取組んで頂き、とにかく延べ18,000余名という新記録の大ギャラリーを無事に事故一つ無く捌いて大成功裡に終了できたことは感謝に堪えません。

終ってみれば長かったようでもあり、あっという間に終ってしまったようでもあり、未だはっきりとした実感が湧いて参りませんが、とにかく終了して2日目の感想を述べさせて頂くならば、関東オープンとは選手、KGA、地元全般、NHK、業者、クラブメンバー、従業員等々あらゆる分野の多数の人々が一つの目標に向って一致協力してそれの実現のために最善の努力をつくすという素晴らしいイベントだと思います。そのお陰で見ず知らずの多くの人々が連帯感を持ちお互いに親近感を覚えて知り合い、沢山の素晴らしい友人ができるというところに一番大きな意義があるように思われます。

今大会に關係された皆さん、今度はゆっくり信州あづみ野を味わいに遊びにお出かけ下さい。

## 昭和58年度(第34回)関東オープンゴルフ選手権競技成績表

参加者 130名 9月1日(木)~4日(日) 於: 穂高カントリークラブ

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
			アウト	イン	計										
優勝	藤木 三郎	後楽園スタヂアム	37	34	71	36	35	71	38	36	74	33	37	70	286
2	新井 規矩雄	アデランス	37	37	74	34	36	70	35	35	70	35	37	72	286
2	尾崎 将司	日東興業	36	31	67	34	41	75	37	33	70	41	33	74	286
4	長谷川 勝治	船橋	34	40	74	37	37	74	35	36	71	36	33	69	288
4	中島 常幸	美津濃	36	36	72	35	37	72	37	34	71	37	36	73	288
4	川田 時志春	フリード	36	36	72	35	34	69	36	36	72	37	38	75	288
7	湯原 信光	S.B.食品	38	37	75	33	36	69	37	36	73	35	37	72	289
7	謝 敏男	鳳凰	36	34	70	37	36	73	37	37	74	34	38	72	289
7	尾崎 健夫	日東興業	35	35	70	38	35	73	35	36	71	39	36	75	289
10	金海 成雄	海栄海運	38	38	76	40	35	75	33	38	71	36	32	68	290
11	中島 和也	矢板	35	36	71	37	36	73	38	36	74	37	36	73	291
12	金井 清一	ダイワ精工	36	39	75	37	37	74	39	35	74	36	35	71	294
13	青木 基正	フリード	38	36	74	34	37	71	40	37	77	36	37	73	295
13	横島 由一	JUN	40	34	74	40	38	78	33	37	70	38	35	73	295
13	川俣 茂	川俣企画	34	36	70	36	34	70	41	39	80	36	39	75	295
16	小林 富士夫	柏真	40	37	77	38	34	72	36	37	73	36	38	74	296
17	謝永郁	柏	40	34	74	37	38	75	38	35	73	37	38	75	297
17	安田 春雄	力士	37	37	74	36	34	70	36	39	75	41	37	78	297
17	高橋 五月	柄木	35	36	71	40	37	77	33	39	72	38	39	77	297
20	棚綱 通隆	中津川	39	39	78	39	36	75	36	39	75	38	33	71	299
20	尾崎 直道	日東興業	38	37	75	36	38	74	36	40	76	35	39	74	299
20	天野 勝	南秋田	35	38	73	36	38	74	38	38	76	34	42	76	299
20	磯崎 功	都留	38	34	72	39	33	72	41	36	77	40	38	78	299
20	陳健忠	トヨストーム	39	39	78	34	36	70	38	35	73	40	38	78	299
25	海老原 清治	翠華樓	40	36	76	34	41	75	34	40	74	37	38	75	300
26	堀口 渡	埼玉国際	40	35	75	36	38	74	40	41	81	36	35	71	301
26	寺沼 猛	ユニオン商事	34	38	72	39	39	78	37	38	75	39	37	76	301
26	栗原 徹	フリード	38	38	76	38	37	75	38	35	73	42	35	77	301
26	入野 太	富士桜	39	39	78	34	37	71	36	37	73	40	39	79	301
30	浅井 敦司	月泉	40	39	79	37	37	74	38	38	76	34	39	73	302
30	土山 錄志	八王子グリーン	37	39	76	38	40	78	35	39	74	37	37	74	302
30	外岡 忍	菊川	41	36	77	39	37	76	36	38	74	38	37	75	302
30	村上 隆	殖産住宅	35	37	72	39	39	78	37	39	76	36	40	76	302
30	平林 孝一	よみうり	34	37	71	38	40	78	37	39	76	39	38	77	302
30	菊地 勝	フリード	37	37	74	35	36	71	40	36	76	43	38	81	302
36	鷹巣 南雄	鹿野山	39	39	78	37	37	74	38	39	77	37	37	74	303
36	文山 義夫	カネダ企画	37	39	76	37	38	75	38	39	77	39	36	75	303
36	吉武 恵治	程ヶ谷	38	40	78	37	37	74	39	37	76	39	36	75	303
36	須藤 聰明	新水戸	37	39	76	35	40	75	38	38	76	37	39	76	303
36	河野 和重	程ヶ谷	35	39	74	37	40	77	39	36	75	40	37	77	303
36	牧野 映裕	フリード	37	34	71	38	39	77	38	40	78	35	42	77	303
42	高橋 咲一	狭山	37	37	74	38	40	78	35	41	76	37	39	76	304
42	常陸 文男	ニューゴルフ	37	36	73	37	37	74	39	40	79	37	41	78	304
42	井上 则彦	ヒットユニオン	40	36	76	39	36	75	39	36	75	36	42	78	304
45	佐藤 市雄	ティンバー	40	39	79	38	37	75	37	38	75	40	39	79	305
45	中川 泰一	島	37	39	76	38	37	75	37	38	75	40	39	79	305
45	安達 典夫	華厳	40	37	77	36	40	76	36	36	72	34	46	80	305
48	小川 清二	東千葉練	40	38	78	37	36	73	41	40	81	38	36	74	306
49	岩下 吉久	藤沢	41	40	81	35	38	73	40	40	80	36	37	73	307

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		第3ラウンド		第4ラウンド		合計				
			アウト	イン	アウト	イン	アウト	イン	アウト	イン					
49	*小川透	岡部チサン	35	36	71	37	41	78	39	39	78	40	40	80	307
51	鈴木智美	江戸崎	35	39	74	39	37	76	39	37	76	42	40	82	308
52	上原正志	下野	40	35	75	38	39	77	41	37	78	39	40	79	309
52	熊部穂	よみうり	37	36	73	41	37	78	39	39	78	39	41	80	309
54	河野高明	矢板	40	39	79	37	38	75	38	40	78	38	40	78	310
54	*森茂則	セントラル	39	39	78	37	39	76	39	39	78	39	39	78	310
54	中島秀徳	越生	39	37	76	42	34	76	38	41	79	40	39	79	310
57	高橋信雄	P.L.千葉	38	37	75	36	43	79	37	41	78	40	40	80	312
58	矢口享逸	フォレ斯特	40	36	76	36	41	77	39	42	81	39	40	79	313
58	*室伏健二	東名	39	39	78	37	36	73	39	39	78	41	43	84	313
	版田哲男	袖ヶ浦													
	杉本英世	千成													
	石井富士夫	大京観光													
	(以上決勝進出者)														

氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
		アウト	イン	アウト	イン			
*秋元忠夫	我孫子	42	40	82	35	38	73	155
橋爪信彦	あさひヶ丘	43	35	78	39	38	77	155
*内藤正幸	桜ヶ丘	38	39	77	40	38	78	155
井岡誠	麗之台	38	37	75	40	40	80	155
谷田部昭	大伸	38	36	74	41	40	81	155
森憲二	川崎国際	40	35	75	39	41	80	155
矢部昭	アリガゴルフ	38	39	77	37	41	78	155
川村正巳	衣笠城址	39	37	76	39	40	79	155
坂本泰博	フリ一	40	36	76	41	38	79	155
栗原孝	武藏	39	36	75	39	41	80	155
南田敏博	フリ一	41	35	76	38	41	79	155
*村上元康	穂高	39	39	78	38	39	77	155
泉川ピート	ヨネックス	41	38	79	37	40	77	156
友光良一	フリ一	37	40	77	40	39	79	156
*大友富雄	塙原	40	38	78	39	39	78	156
上原光生	フリ一	38	40	78	37	41	78	156
新聞善美	東北丸正	40	38	78	39	39	78	156
原二三雄	赤城国際	39	41	80	39	37	76	156
山高孝信	柄木鋼運	38	41	79	41	36	77	156
照屋唯明	白帆	37	38	75	39	42	81	156
大谷朗	東千葉	41	40	81	39	36	75	156
上原泰典	紫雲	39	37	76	40	40	80	156
間谷通人	宍戸国際	41	37	78	39	39	78	156
水野和徳	小山	39	40	79	38	40	78	157
芹沢信雄	富士平原	39	41	80	36	41	77	157
八木正孝	GSスwing	38	38	76	41	40	81	157
片山康	そごう百貨店	38	41	79	40	38	78	157
*鹿産一郎	セントラル	43	37	80	36	41	77	157
荻野勇三郎	富士グリーンヒル	40	37	77	39	41	80	157
中田明	千葉・梅郷	40	41	81	40	37	77	158
*五十嵐唯郎	東京五日市	41	38	79	40	39	79	158
小八重正次	静岡・島田	36	43	79	39	40	79	158
白石勝昭	袖ヶ浦	39	38	77	41	40	81	158
三浦勝利	千葉・梅郷	40	43	83	38	37	75	158

(※はアマチュア)

## 昭和58年度関東ジュニアゴルフ選手権競技について

関東ゴルフ連盟 ジュニア委員長 松野京三

58年度ジュニアゴルフ選手権競技は、予選をノーザンカントリークラブ錦ヶ原で、決勝を相模原ゴルフクラブで開催させて頂きました。幸い天候に恵まれ無事成功裡に終了することができました。大変喜ばしいことです。

この競技のために、グリーンを始めコース全般に涉り素晴らしい状態に仕上げて頂き、ジュニアゴルフ選手権に相応しい舞台をご提供下さい、また早朝よりクラブを開場し、万全の受入体制を整えて下さいました。これはすべて両クラブの役員の方々を始め、会員並にクラブ関係者の皆様の深いご理解とご支援の賜と深く感謝して居ります。

ジュニア競技の参加者も毎年増え、今年度関東地区では1,063名の多き数へ、対前年比12%増となって居ります。これは本競技に対する関心が高まってきた結果ではないかと思います。ジュニアゴルファーが増えるということは、日本のゴルフ界発展のためにも喜ばしいことです。



大会開始に当って挨拶を行う松野委員長。

が出来ました。

ジュニアの競技は、一般の主催競技に比べて、特異性があると思います。

その一つは参加資格の問題です。現在の参加資格は、年令と高校在学ということだけですから、参加者の中には技量の点で競技に参加するのが少し無理かと思われるものも申込できます。高ゴ連加盟校は学校にゴルフ部がありますので、或る程度規制することが出来ますが、非加盟校の方は何の規制も出来ません。他の一般競技のように、ハンディキャップで資格を決めるることは出来ません。高校生は全部と言ってもよいが、正式のハンディキャップは勿論持っておりません。結局技量の低いものは他のプレーヤーの迷惑になるので、父兄の良識に任すより方法がないと思います。また、参加者に何枚かの練習のスコアカードを出させる方法もありますが、これも実際には正確なものは期待出来ないと思います。

しかしジュニアの育成指導という立前からいうと一部その様なものが入ってきてても、これを拒否することは、その精神に反すると思います。ジュニアには一度でも多く競技の経験を積ませて、一人前のゴルファーに育てることが必要かと思います。

また、競技の参加者が一般の競技参加者に比べて、ルール等の知識が非常に幼稚であります。ジュニア教室を年2回開催して、種々教育をやっておりますが、成果は或る程度時間かけなければなりません。ジュニア競技はすべて、セルフバッグですから、球の行方、プレーの進行、また目土の施し等に気を取られ、本来のマーカーとしての任務が疎かになり、プレーヤーのスコアの確認等が不充分になる感があります。今年は前からジュニア競技のスコアに、とかくの風評があったので、試みとして、各ホール毎にプレーヤー全員でスコアの確認をして、1組全員が普段使用しているカードに記入させて見ました。その結果、競技終了後この種の問題は皆無になりました。各ホール毎に記入することも励行させる習慣をつけるために、委員をコースに適宜配置して指導したこと、よい勉強になったと思います。

この問題について、或る一流スポーツ紙が一部の選手のスコアが不正確であるとの風評を取り上げて、興味本位に「乱脈ジュニアゴルフ」と報道しましたが、全国で約2,000人の中には2、3名の不心得のものもいたかも知れません。しかしながら、そのものだけを見て全体をこの様にきめつけることは、大きな誤りであります。また競技を通じて、ジュニアゴルファーを、温情をもって、育



第4回関東ジュニア選手権が行なわれた「ノーザン錦ヶ原ゴルフ場」  
成して行くという精神からも程遠い思想といわねばなりません。

このようにジュニア競技は、一般的のゴルフ競技の運営と異って、競技の管理のみでなく、参加者の育成指導も、大きな役割となっています。従って委員は出来るだけ多くのコース内に配置して、対応しなければならないわけです。

次に今年度感じたことは、参加者の行儀が非常によくなっています。服装は上は白、下は紺か黒に統一されて来ました。前の様に色ものを使用するものは一人も居なくなりました。また以前は役員の方の話を聞く態度もよくなかったが、最近は私語をするものもなく、整然として気持よい感じが出てきました。これも年2回のジュニア教室の開催が大きく影響しているかとも思います。

ジュニアの教室は、時間をかけて、気長にその成果を期待しなければなりません。

最後にジュニア競技に毎年ご協力を願っている、ノーザン錦ヶ原、相模原ゴルフクラブに対して、心からお礼を申し上げ、両クラブの益々の発展をお祈り致します。



決勝で素晴らしいプレイを繰り広げる選手の姿。

## 昭和58年度(第4回)関東ジュニアゴルフ選手権競技

### 予選

- 期日 7月25日(月)~27日(水)
- コース ノーザンカントリーゴルフ錦ヶ原
- 参加者 高校の部833名、中学生の部126名、女子の部104名、合計1,063名

ジュニアの参加者は年々増大する。昨年度の参加者が949名だったが、本年度は軽く1,000人を越した。予選は錦ヶ原のさくら草との花の両コースを使い、しかも午前の予選は7時半にスタートし、最後の組が18ホールの後半に進んだ後、午前11時半から午後の部の予選をスタートさせるという強行スケジュールで、1日に4ブロックの予選を消化した。

とにかくジュニア予選となると、他のトーナメントとは模様が違ってくる。これがジュニアかと驚かされるような凄いスコアを出す者もいれば、中には立て続けにウォーターハザードにたたき込み、せまい川を越せずにペソをかく選手も出て来る有様。まさに玉石混淆である。

それだけに競技委員会が大変だった。競技委員ばかりではなく、ジュニア委員を勤務して競技委員を委嘱し、かつ錦ヶ原の競技委員も総出でお手伝いいただいた。強烈な陽光の炎天下で2~3ホールに1人の割合で委員を配置し、要所要所で全選手のスコア・チェックを実施した。午前の予選に続いて午後の予選の選手たちが次々と通過するので、委員は朝から夕方までコースにはりつけになった形である。日頃ゴルフで鍛えている委員たちも、暑い最中の立ちん棒には、いさかバテ気味。

しかし、ジュニア選手権はスマーズな競技運営ばかりでなく、まだ未熟なジュニアたちに正しいゴルフのエチケットとマナー、それにルールを教え込むことが一番大切な課題だった。いくら技術だけうまくなってしまっても、ゴルファーとしてのマナー、エチケットが身についていなければ、ゴルファーとしては片輪である。このために委員会も万全の体制をとり、各委員も炎天下にさらされるこ

### 決勝

- 期日 8月3日(木)、4日(金)
- コース 相模原ゴルフクラブ東コース
- 参加者 高校の部161名、中学の部27名、女子の部14名、合計202名

とになったのだが、厳正な運営のために何のトラブルも無く、予選、決勝ともに好成績をあげるとともに、ジュニア教育の面でも多大の成果があった大会になった。



高校の部の決勝は予選を通過した161名が参加、相模原東コースで3日に18ホール・ストローク・プレーを行ない、上位80位までの82名が4日の36ホールに挑戦したが、第1ラウンドから高校1年生の伊沢利光(日体荏原)が快調に飛ばした。アウトを2バーディー、1ボギーの36、インも3バーディー、2ボギーの36にまとめて2アンダーの72、2位の古木真二(向丘高3年)に3ストロークの差をつけてトップに立ち、最終日の第2ラウンドも1アンダーの73、最終ラウンドがイーブン・パーの74と一向にくずれを見えない好プレーで通算は3アンダーの219ストローク、2位に上って来た野上浩一(埼玉栄1年)、古木真二の2人に7ストロークの大差をつけて初優勝をさらったが、この1、2位と5位に入った岡田光史(立教高)がいずれも高校1年生、やけに1年生パワーの光った大会だった。

18ホールだけの中学生の部は、前年度優勝の佐藤英明(伊藤中3年)がアウトを2オーバーの39とややもたつたものの、インは1アンダー36にまとめ、1オーバー72で2位の丸山茂樹(下貝塚中2年)に42ストロークの差をつけ、2年連続優勝をなしとげた。

女子はファミリー・ティーからのプレーながら身長1m65、体重60kgの恵まれた体をもつ中学3年生の木村敏美(赤塚一中)が並居る高校生を圧倒、1アンダー・パー73の好スコアで同じく中学3年生の2位久松由利子(上板橋一中)に4ストローク差をつけて初優勝をとげた。



## 昭和58年度 第4回関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

(高校男子の部) 8月3日・4日 於: 相模原ゴルフクラブ(東コース)

順位	氏名	学校名/学年	第1ラウンド				第2ラウンド				第3ラウンド				合計	順位	氏名	学校名/学年	第1ラウンド				第2ラウンド				第3ラウンド				合計
			O	I	計	O	I	計	O	O	I	計	O	I	計				O	I	計	O	I	計	O						
1	伊沢 利光	日体荏原	(1)	36	36	72	36	37	73	38	36	74	219		40	旗 廣 信太郎	日 大	(1)	41	43	84	44	41	85	39	40	79	248			
2	野上 浩一	埼玉栄	(1)	38	40	78	36	35	71	38	39	77	226		43	斎藤 恭正	土浦日大	(3)	43	40	83	42	40	82	40	44	84	249			
3	古木 真二	向上	(3)	38	37	75	37	39	76	37	38	75	226		43	小泉 和恵	埼玉栄	(3)	39	42	81	42	43	85	41	42	83	249			
4	長谷川 太郎	浦和学院	(2)	41	47	88	37	36	76	38	36	74	227		45	鷲坂 刚	日体荏原	(2)	40	42	82	42	43	85	41	42	83	250			
5	岡田 光史	立教	(1)	38	38	76	35	40	75	30	38	78	229		45	山 内 健司	早稲田	(2)	44	42	86	43	40	83	41	40	81	250			
6	塙 秀幸	越 越	(3)	38	42	80	38	38	76	39	35	75	231		45	渡辺 真人	松 戸	(3)	42	43	85	43	43	86	39	40	79	250			
7	加茂 康則	日大第一	(1)	39	37	76	38	37	75	42	38	80	231		45	東島 堆	北	(3)	41	38	79	40	48	88	44	39	83	250			
8	波場 イサク	日大桜ヶ丘	(2)	38	42	80	36	40	76	37	39	76	232		45	伊藤 誠	京 北	(3)	41	43	84	43	43	86	37	43	80	250			
9	杉山 真也	成蹊	(1)	39	40	79	38	37	75	37	42	79	233		50	森川 賢一	森川	(2)	40	42	82	42	43	85	44	40	84	251			
10	黒崎 宏治	明 明	(3)	37	41	82	37	37	79	37	39	76	233		51	野 田 太	横浜高	(2)	39	41	80	44	41	85	45	42	87	252			
11	高階 尚城	城	(2)	37	42	79	37	37	74	39	42	83	233		51	山 田 雄二	明大附属中野	(1)	39	39	78	45	44	89	43	42	85	252			
12	小西 政臣	埼玉栄	(1)	40	38	78	43	40	83	37	36	75	234		51	田沼 健	日 大	(3)	40	44	84	38	46	84	39	45	84	252			
13	望月 仁幹	日 大	(3)	37	40	77	39	37	76	43	40	83	236		54	福 篤士	伊東商	(3)	38	42	80	39	44	83	45	45	90	253			
14	大西 克彦	日 大	(3)	42	40	82	39	38	77	40	38	78	237		54	大 堀 推之	堀 越	(2)	43	41	84	41	45	86	42	41	83	253			
15	泉 哲哉	成蹊	(3)	39	40	79	43	38	81	40	38	78	238		54	閑 水 純利	佐野	(3)	46	38	84	40	42	82	45	46	87	253			
16	鹿島田 宏史	明大附属中野	(3)	41	37	79	37	37	74	40	47	85	238		54	中 西 謙	三 寶	(1)	42	35	77	41	46	87	43	46	89	253			
17	森岡 善	柳蔭学園	(2)	37	46	83	39	36	75	40	40	80	238		58	三 田 伸 弘	日体荏原	(1)	44	41	85	43	40	83	41	45	86	254			
18	小林 裕明	慶 庄	(3)	40	40	80	41	39	80	39	40	79	239		60	廣 優	島 貴 司	(1)	41	44	85	38	43	81	43	45	88	254			
19	河下 新吉	百合丘	(2)	37	40	77	38	46	84	39	39	78	239		61	鈴木 公士	日 大	(1)	40	45	85	41	42	83	41	46	87	255			
20	大石 哲也	埼玉栄	(3)	37	41	78	40	40	80	41	40	81	239		61	伊藤 美治	鈴木大	(3)	41	45	86	41	43	84	44	42	86	256			
21	齊藤 秀一	日体荏原	(3)	37	39	76	43	42	85	37	41	78	239		61	鳥 羽 栄 司	鶴	(3)	44	41	85	39	44	83	43	45	88	256			
22	石井 雅之	埼玉栄	(3)	41	40	81	38	42	80	37	42	79	240		61	家 本 一 晴	明大附属中野	(1)	42	42	84	42	41	83	46	43	89	256			
23	萩原 善輝	日大第二	(1)	40	38	78	43	44	87	38	37	75	240		64	張 容 順	セントジョセフ	(1)	41	45	86	44	41	84	44	46	87	257			
24	藤井 雅也	日大鶴ヶ丘	(2)	41	38	79	40	41	81	38	41	81	241		64	工 田 清 幸	堀 玉	(3)	43	43	85	43	41	84	41	45	86	254			
25	杉山 美穂	日大・第3	(3)	40	45	85	36	39	75	40	41	81	241		67	八 月 光	成田	(2)	41	45	86	45	42	87	43	42	85	258			
26	飯島 学	二松学舎・沼南	(3)	43	38	81	40	39	79	40	42	82	242		67	星 野 伸 也	大 成	(2)	39	41	80	42	47	89	46	43	89	258			
27	橋本 駿	小 山	(3)	43	42	85	39	40	79	36	42	78	242		69	須藤 真一郎	埼玉栄	(3)	44	40	84	45	41	86	41	49	90	260			
28	小松 優	日 大	(3)	41	43	84	43	40	83	35	40	75	242		69	原 弘一	埼玉栄	(1)	40	43	83	44	46	90	44	43	87	260			
29	清水 順樹	向 上	(3)	39	42	81	41	40	81	40	41	81	243		71	柳 信 薫	堀 越	(3)	42	43	85	45	45	90	44	42	86	261			
30	清水 順樹	向 上	(3)	39	42	81	41	40	81	40	41	81	243		71	久 木 久	全 土	(3)	40	44	84	47	43	90	42	45	87	261			
31	増田 健	日 大	(3)	40	39	79	42	45	87	37	40	77	243		71	土 田 伸 也	水 城	(3)	42	42	84	42	44	86	47	44	91	261			
32	樺木 勝	埼玉栄	(2)	40	39	79	42	40	82	40	43	83	244		74	杉 田 美 売	鳥島高	(1)	42	39	81	47	49	96	42	44	86	263			
33	高橋 謙	アーチン	(2)	41	42	83	37	41	78	42	41	83	244		74	吉 野 啓 康	桐 朋	(2)	39	45	84	44	44	88	43	48	91	263			
34	小達 敏昭	関東学院	(1)	39	41	80	42	40	82	40	43	83	245		76	中 島 安 浩	日 大	(1)	44	41	85	44	44	88	47	44	91	264			
35	杉沢 一郎	波崎	(1)	42	40	82	42	40	82	40	42	82	246		77	川 田 新	慶 庄	(3)	41	45	86	44	44	88	47	44	91	265			
36	宝田 一義	明大附属中野	(3)	40	45	85	42	40	82	39	40	79	246		78	露 久 里 和	駒 台	(3)	37	48	85	47	49	93	45	46	87	267			
37	藤井 俊也	明大附属中野	(2)	43	41	84	42	39	81	39	41	82	246		79	林 利也	埼玉栄	(2)	40	46	86	44	47	91	44	47	91	268			
38	青木 宏之	明大附属中野	(2)	38	42	80	41	39	80	46	41	87	247		80	尾崎 敏太	向 上	(2)	39	43	82	50	43	93	49	45	94	269			
39	持平 達也	埼玉栄	(3)	40	41	81	41	43	84	41	42	83	248		80	荻野 和博	土浦日大	(2)	41	44	85	41	49	90	43	51	94	269			
40	安田 浩二	成城	(2)	43	42	85	40	38	78	44	41	85	248		80	藤原 仁一	慶 庄	(3)	41	44	85	失	失	失	失	失	失	269			

(O: アウト I: イン)

### (女子の部)

順位	氏名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	木村 敏美	赤坂第一中	(3)	37	36
2	久松 由里子	上板橋第一	(3)	39	38
3	齊藤 美樹	青山学院	(2)	37	41
(以上入賞)					
4	武田 久子	日体荏原	(2)	40	39
5	柳沢 肖子	慶 庄	(3)	39	41
6	加藤 知子	川崎	(3)	43	38
7	伊藤 朝代	第一高	(1)	42	40

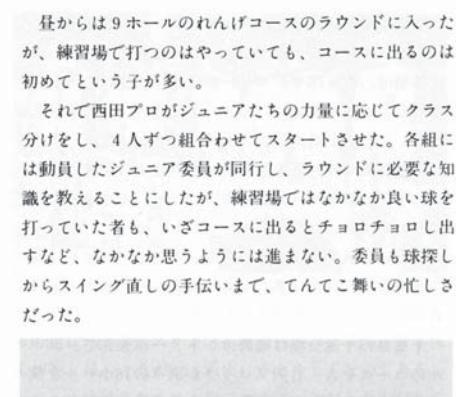
-16-

## 昭和58年度夏季ジュニア初心者ゴルフ教室

●期日 昭和58年8月22日(月) ●場所 ノーザンカントリークラブ錦ヶ原コース ●参加者 男子ジュニア57名・女子ジュニア15名



芝の上で初のラウンド「飛んだら!」



西田プロも一人一人に細かいアドバイス。

この教室の参加費用は練習場のレッスンからハーフ・ラウンドのラウンド・ティー、昼食費と教材費、すべてを含めて4,500円。

同伴して来た父兄から、「こんなに安い費用で面倒を見いただき、本当に有難うございました」と感謝の言葉が聞かれたが、これもボランティアで協力してくれた委員会、及びプロのご奉仕はもちろんだが全面的に練習場を自由に使わせてくれ、また午後のラウンドのためにれんげコースを開放、しかも料金もこのジュニア教室のために特別な協力をしてくれた錦ヶ原にこそ大いに感謝しなくてはならないことであろう。

# 第30回関東倶楽部対抗選手権競技レポート

●期日 7月4日(月)・コース 霞ヶ関カンツリー倶楽部 ●参加者 272名

関東倶楽部対抗競技は年々参加チームの数が増大しているが、本年度の予選参加チームの総数は189チーム、決勝開催の霞ヶ関カンツリー倶楽部は決勝にシードされているので参加総数は190チームとなり、倶楽部対抗競技としては史上最高のエントリー数となった。

予選は例年通り各県毎に10ヶ所で盛大に開催されたが、この中では参加チーム数の多い県ほど、すさまじいほどの激戦を展開した。

最大の激戦地は千葉県である。参加チームは27クラブ、1チーム8人の出場者だから216人がせり合う大競技である。

千葉県の予選会場は鶴舞カンツリー倶楽部で、36ホールのコースをA、B両ブロックが別々の18ホールを使ってせり合ったわけだが、とにかく千葉県には伝統の古いクラブから、新興のクラブまで、実力者を揃えているクラブが多いだけに最後の最後までどのチームが飛び出して来るのか、まるで見当もつけにくい展開となつた。Aクラスが50歳以上、Bクラスが50歳未満の年齢別が採用されてから、Bクラスの実力に大差はなくとも、Aクラスのペテラン達の出来不出来がチーム成績の浮沈に大きな影響を与えるようになったのが特徴で、AクラスとBクラスの実力のバランスの良いチームが上位入賞の条件でもある。その点、決勝進出の常連となっている袖ヶ浦は、特にA、Bの力のバランスの良いチームだが、この日はペテラン組が足並みを揃えて頑張ったのがきいて、チーム・トータルは596ストローク、2位に9ストロークの差をつけてトップ、2位にはこれまた古い歴史を誇る我孫子が、シニア・クラスの層の厚さにものを云わせてのし上り、以下、中山、習志野、それに開催クラブの利点をフルに生かした鶴舞が予選通過を果たし、常に決勝の常連でクラブ対抗優勝のキャリアもある千葉カントリークラブが珍らしく次点で落ちたのが目立った。



クラブ対抗決勝当日、各選手練習場でウォーミングアップ



大会終了後、祝賀パーティで挨拶する理事長

この他では、東京地区で決勝進出の常連だった青梅が次点で落ち、予選の開催コース桜ヶ丘がトップで通過したのも大きな話題であり、また埼玉では強豪の東京ゴルフ倶楽部とこれまた決勝の常連の武藏が予選落ちという番狂わせを演じた。また神奈川で目立ったのは強豪横浜のトップは順当だったが、予選開催クラブの小田原湯本が566ストロークで大相模と3位タイに並びながら、8人目のスコアで惜しくも予選落ちの憂き目にあっている。茨城はアジア下館、セントラル、大利根の強豪が順当に残ったが、水戸が龍崎を1ストローク抑えて予選に残ったのは予想外の活躍、群馬は伊香保、赤城国際の古手が美野原、草津の新顔に躍落され、長野でも望月、穂高等の新しい顔振れになるなど、予選は各県ともに荒れ模様だった。

決勝は7月4日(月)埼玉県の霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催された。Aクラスが東コース、Bクラスは西コースを使用、予選を通過した34チームが絶好のコンディションの中で覇を競った。

予選も決勝も倶楽部対抗となると異様な雰囲気をかもし出す。クラブ・ハウスのまわりには各クラブの役員や応援団がたむろし、伝令を飛ばしてはチームの代表選手たちの情報をかき集める。中には電気計算機を手にして途中の情報を素早く集計し、一喜一憂するなど、いろんな情報が乱れ飛んで次第に騒然としてくる。

倶楽部対抗の集計は各チームAクラス4人、Bクラス4人計8人のうちのベスト7人の合計をチーム・スコアとするため、どうしても集計を終るまで時間がかかるケースが多い。それで今大会ではテストとして集計にコンピューターも併用して見たのだが、そのコンピューター

のサービス社がついでに速報もやってみたいということになり、アルバイトを動員して途中のスコアを報告させ、スコア・ボードに記入させてみたのだが、Aクラスの東コースの場合は比較的順調に速報されたものの、Bクラスの西コースは無線の状態が悪かったのか、スコアが入って来るのもとぎれとぎれ。

「この速報はいいですね」と各クラブの人達から喜こぼれたものの、Bクラスのスコアがほとんど入ってこないので、かえってスコア・ボードに集った人たちもいらっしゃらず有様。しまいには西コースの情報集めに駆け出す者も多かった。

この中間情報で一番そわそわし出したのが袖ヶ浦の応援団である。とにかくBクラスの若手切札の阪田哲男がアウト36はいいとして、他の2人が揃って1アンダーの35、一番悪かった者でも1オーバーの37であり、まずは西コースのBクラスでは抜群の成績。そしてチームの浮沈のカギを握る50歳以上のAクラスも森泉の36をトップに40、41、42と4人が着実にまとめて来ているのだから、「ひょっとすると…」と応援に熱が入って来るのも無理はない。

トップの組から次々と18ホールを終了してスコアが提出され出すと、各クラブの応援団も計算が忙がしくなる。他チームの計算まで出して、自チームの合計と比較する。

この中で相変わらず抜けたスコアを維持して次々と袖ヶ浦のメンバーが上って来た。Bクラスの水沢純一がアウト35の後、インを33にまとめ、合計4アンダー・パ



祝賀パーティに集う、当日の競技委員の方々  
の68でダントツのメダリストである。阪田は手固く73。  
その他は76と79、Aクラスの方も森の76を筆頭に野本俊夫が78、後の2人が82と着実にまとめて来たのである。  
とにかく除外される8人目のスコアが82だったのだから、  
まさに全員が実に良く揃って当りまくったわけである。  
チーム・トータルが532ストローク、2位の我孫子に8  
ストロークの大差をつけ、それこそ何年振りかで念願の  
初優勝をやってのけたのである。

注目されたのは我孫子が健闘して2位に入ったことである。若手のBクラスの健闘もさることながら、このチームで光っているのはペテラン勢のAクラスが頑張ったことであろう。浜口正俊、三上康次の二人がともに78、続く2人も79、80とまとめており、Aクラスだけ見れば、参加34チーム中の断然トップである。クラブが古いだけにペテラン勢の層の厚さがものを云つた見事な2位だった。



クラブ対抗の優勝チーム「袖ヶ浦チーム」。キャプテンを囲み皆で記念撮影

## 昭和58年度 関東俱乐部对抗予選競技成績表

地区別	東京	京	埼玉	神奈川	千葉	茨城
	(桜ヶ丘)	(東松山)	(小田原湯本)	(鶴)	(霞)	(霞)
1	桜ヶ丘	540	嵐山	542	横浜	548
2	東京国際	546	岡部チサン	546	相模	562
3			日高	548	大相模	566
4					袖ヶ浦	576
5					我孫子	585
					中野	587
					習志野	588
					鶴舞	588

## 関東俱乐部对抗決勝競技成績表(昭和58年7月4日(月)霞ヶ関カントリー俱乐部)

### 優勝 抽ケ浦カントリークラブ 成績532

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 野 本 俊 夫	38	40	78	
森 保 田 宏 宏	41	41	82	
渡 辺 勝	40	42	82	
B 服 田 哲 男	36	37	73	
水 木 淳	35	33	68	
山 野 伸 利	41	35	76	
佐 久 間 健 二	42	37	79	

### 2位 我孫子ゴルフ俱乐部 成績540

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 浜 口 正 俊	40	38	78	
上 康 次	38	40	78	
宇 津 木 忠 行	42	38	80	
村 木 信 雄	37	42	79	
B 秋 元 忠 善	38	36	74	
木 原 恒 夫	35	40	75	
佐 野 宏 車	41	42	83	
佐 野 公 車	38	38	76	

### 3位 大利根カントリークラブ 成績543

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 初 見 伸 治	35	38	73	
木 昭 美	49	45	94	
竹 内 伸 勉	39	42	81	
高 木 信 信	37	40	77	
B 赤 沢 正 輝	40	40	80	
野 伸 次 郎	39	35	74	
西 山 文 敏	39	39	78	
林 恒 男	40	40	80	

### 4位 セントラルゴルフクラブ 成績545

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 曹 井 则 吉	40	41	81	
市 本 孝 一	41	40	81	
山 本 孝 朗	41	43	84	
草 井 伸 之	40	42	82	
B 座 一 郎	39	36	75	
高 木 行 行	35	38	73	
岸 本 茂	37	40	77	
森 茂 则	39	37	76	

### 5位 中山カントリークラブ 成績549

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 三 宅 和 男	40	40	80	
大 塚 成 吉	40	39	79	
岩 利 碧	39	42	81	
佐 藤 浩	41	41	82	
B 戸 信 朗	43	40	83	
山 代 修 二	36	39	75	
石 田 弘 行	38	36	74	
角 南 道 弘	40	38	78	

### 6位 横浜カントリークラブ 成績550

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 山 口 梅 吉	39	37	76	
伊 丹 伸 朗	41	38	79	
木 伸 伸	39	42	81	
佐 伸 伸	40	40	80	
B 保 田 利 容	40	40	80	
森 伸 伸	40	40	80	
小 林 治 郎	40	40	80	

### 7位 嵐山カントリークラブ 成績551

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 高 横	39	40	79	
小 林 亨	41	40	81	
酒 井 勉	42	43	85	
渡 辺 伸	43	41	84	
B 岩 田 伸	39	41	80	
木 田 伸	37	41	78	1位

### 13位 鶴舞カントリー俱乐部 成績556

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 島 田 真 司	40	39	79	
鳥 新 茂	42	38	80	
鶴 田 勝	42	45	87	
足 田 伸	43	45	88	
B 日 本 伸	43	41	84	
木 田 伸	39	40	79	532

### 19位 足利カントリークラブ 成績559

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 猪 口 直 一	37	37	74	
長 田 長 一	43	42	85	
木 木 伸 造	41	40	81	
足 木 伸 造	42	45	87	
B 日 本 伸	43	41	84	
木 木 伸 造	39	40	79	551

### 25位 東京国際カントリー俱乐部 成績576

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 猪 口 直 一	42	45	87	
長 田 長 一	44	40	84	
木 木 伸 造	41	40	81	
足 木 伸 造	42	47	87	
B 日 本 伸	43	41	82	559

### 31位 望月カントリークラブ 成績585

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 広 瀬 雄 水	44	43	87	
堂 野 忠 伸	43	42	85	
木 木 伸 造	50	44	94	
足 木 伸 造	41	39	80	
B 沢 田 駿 介	40	39	79	585

### 20位 岡部チサンカントリークラブ 成績560

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 牧 田 雄 伸	44	40	84	
水 井 康 次	44	42	86	
木 木 伸 造	40	41	81	
足 木 伸 造	46	43	89	
B 田 中 伸 一	36	37	73	19位

### 26位 草津カントリークラブ 成績577

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 井 田 重 次	39	38	77	
北 木 伸 一	40	39	79	
木 木 伸 造	41	46	87	
足 木 伸 造	43	48	91	
B 小 木 伸 一	40	38	78	576

### 21位 アジアカントリークラブ 成績560

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 松 本 富 夫	44	41	85	
野 田 勇 二	43	40	83	
木 木 伸 一	40	40	80	
足 木 伸 一	41	40	82	
B 木 木 伸 一	37	38	75	558

### 22位 大相模カントリークラブ 成績561

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 西 村 精 一	37	42	79	
上 田 淳	38	45	83	
山 田 岩 雄	43	46	89	
崎 井 伸 夫	40	42	82	
B 宮 田 康 夫	38	38	76	10位

### 28位 那須小川ゴルフクラブ 成績579

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 木 田 守	45	41	86	
吉 田 伸 一	43	40	83	
木 木 伸 一	42	43	85	
足 木 伸 一	43	47	92	
B 舟 野 明	37	35	72	579

### 23位 東名カントリークラブ 成績562

氏名	アウト	イン	合計	順位
A 木 田 富 夫	44	40	84	
山 田 勇 二	39	42	81	

# 理事会・委員会

## 加盟クラブ殿

昭和58年 6月16日

関東ゴルフ連盟

理事長 細川護貞

### 58年度第3回理事会議事録

58年度第3回理事会討議事項を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和58年 6月16日(木)正午

場 所 パレスホテル

出席者 細川理事長、鈴木副理事長、相山、藤原、福田彰、  
福田富市、古賀、木村、古茶、小宮山、松浦、中川、  
大槻、齊藤、佐藤各常務理事、青木、浜口、金丸、勝  
山、北村、小林金太郎、小林甲子郎、宮本、村田、森  
井、佐久目、滝沢、山崎、内田、渡辺各理事

#### 決議事項

##### 1. 関東オープン準備状況報告

福田競技委員長より、穂高で開かれる関東オープンの準備状況については、開催クラブの穂高すでに前売券を1万2千冊以上を売りさばき、またパンフレットの広告集稿についても3千万円以上に達し、資金面では大変順調であること、またコースも最終的には8月に最終チェックを行うが、現在でもグリーンはほぼ満足できる状態になっており、あとは夏の天候次第であると報告があった。なお、日比谷綜合設備より申し出で、特別賞として18番ホールにイーグル賞100万円を設けたいと提案、異議なく承認された。

##### 2. 59年度競技日程編成の件

福田競技委員長より、前日開かれた競技委員会で作成した明年度競技日程案について一通り説明を行ない、次の点を提案した。

###### ①クラブ対抗

参加チームが年々増加の傾向にあり、県によっては予選を2ブロックに分けて開催する。

決勝進出チーム数も増えるため、運営上決勝は、33チームまでを限度とするよう実施規定の見直しを行なう。

###### ②関東オープン

宍戸国際より開催希望の申し出があり、競技委員会でも種々の条件を検討したが、受入体制も十分なので、準備に充分な時間を取る必要もあり、本日この理事会で確定したい。

###### ③女子、シニア連続出場表彰の件

女子、及びシニア選手権に関しては10年、及び15年連続出場者を表彰して来たが、両選手権とともに

参加者増加により予選制がとられるようになり、予選出場の資格も拡大されたため、今後の表彰は連続決勝進出者に限ることとしたい。

以上の提案に対して全員異議なく承認した。

なお、明年度の日本オープン、日本女子オープンについては関東地区で開催することになっているが、その会場としては日本オープンを嵐山カントリークラブ、日本女子オープンは甘楽カントリークラブを推薦したいと提案、これも全員異議なく承認した。

その後、クラブ対抗について予選キャプテン会議を各県で開催させてもらえないかとの提案があり、またチーム成績がA B各クラス4名、計8名中のベスト7人のスコアで争そわれるが、予選によってはクラス別にティーを変えているケースもあるので不合理ではないかとの質問があり、福田委員長はこれらの点を全面的に再検討することを約すと共に、予選の競技委員長については各県代表の理事に依頼していたが、明年度よりは競技委員の中から競技委員長を出すようにしたいと提案、これも異議なく承認された。

##### 3. ハンディキャップ委員会報告の件

武内ハンディキャップ委員長が所用で不在のため、代って事務局より次の通り報告があった。3月25日に開いたハンディキャップ委員会でJGAハンディキャップの普及活動を精力的に展開するため、各地区毎に説明会等の集りを開くことを決め、これにもとづいて5月5日には伊香保カントリークラブに群馬県の加盟クラブを集めた説明会、5月30日には昇仙峡カントリークラブで山梨県の説明会を開き、武内委員長、古茶副委員長にそれぞれご説明を願ったほか、6月22日には宍戸国際で茨城県北地区支配人会、6月30日には埼玉県の全加盟クラブを対象に武藏カントリークラブ豊岡コースで説明会を開催する予定になっているなど、積極的な説明会活動を続けている旨を説明した。

続いて古茶副委員長が発言、JGAハンディキャップの普及実施は関東ゴルフ連盟の規約にも決められていることで、全加盟クラブは実施をしなければならないことであり、これを中途半端にしておくことは連盟の威信にもかかわることだが、またハンディキャップの本質を理解していない者も多く、とにかくJGAハンディキャップを周知徹底させることが先決問題で、この点各理事の方々のご理解とご協力をお願いしたいと要望、全員これを了承した。

#### 4. 夏季ジュニア初心者教室開催の件

松野ジュニア委員長より、恒例となった冬と春のジュニア教室がラウンドを主体にしたやや高度のジュニアを対象としているため、ラウンドもおぼつかない初心者は申し込み時点で断わらざるを得ない有様なので、本年度も昨年夏に開催したジュニア初心者教室を開催したいと実施規定案を示して提案したところ、全員異議なくこれを承認した。

#### 5. グリーン研究所設置案について

木村グリーン委員長より、ゴルフ・コースのメンテナンスについては、来場者の増加にともなう各種の問題が派生しており、今や総合的な研究と、その対策の必要性が強まって来たが、関東ゴルフ連盟でもこれらの諸問題に対応できるグリーン研究所を設置したいが…と提案、用地に関しては前のグリーン委員長の故安達貞市氏のご遺志で茨城ゴルフ俱楽部の用地提供のお話しがあり、人材はグリーン委員会顧問の九大名誉教授江原薰氏や、グリーンキーパーズ協会会長の角田三郎氏などが予定され、運営費用については加盟クラブ1クラブ当り月額1万円、年額12万円の会費負担で賄うことができるのではないか…等の説明があり、結局、グリーン研究所設置については前向きに検討していくことを決めた。

#### 6. 後援承認の件

①栃木県オープン選手権(下野新聞社主催)の後援を承認。  
②読売カップ・ゴルフチャンピオンシップ(読売新聞西部本社主催)については九州で開催する競技であること、また全国規模の競技であれば日本ゴルフ協会に後援を依頼すべきであり、かつ全国規模としながらも東北、北海道を除外しているなど、スッキリした形でないなどが問題とされ、後援を見合わせることを決めた。

#### 7. その他

山崎理事より明年度関東オープンの開催コースが宍戸国際に確定したので、今後は開催クラブとしてこれを成功させるために全力を傾注したいとあいさつがあった。

次回理事会 9月6日(木)正午 以上

## 加盟俱楽部殿

昭和58年 9月 6日

関東ゴルフ連盟

理事長 細川 護貞

### 58年度第4回理事会議事録

58年度第4回理事会討議事項を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和58年 9月 6日(木)正午

場 所 パレスホテル

出席者 細川理事長、武内副理事長、相山、藤原、福田彰、  
福田富市、古賀、木村、古茶、小宮山、松浦、松野、  
長沢、齊藤、佐藤各常務理事、青木、浜口、金丸、  
勝又、勝山、北村、小林金太郎、小林甲子郎、村田、  
森井、佐久目、竹井、滝沢、山崎、内田各理事、及び  
岩本、三嶋各監事

#### ——決議事項——

細川理事長より4日に終った関東オープンゴルフ選手権が大成功を収めることが出来たことに対し、開催クラブの理事長である青木理事に厚く謝意を表明の後、議事に入る。

##### 1. 関東オープン報告の件

福田競技委員長より、9月1日から4日間、穂高カントリークラブで開催された関東オープン選手権は穂高カントリークラブのご努力と、長野県をあげての協力体制で前売券は13,000冊以上を売上げ、パンフレットの広告集稿もグロースで5,000万円を突破するなど、経理上は大変楽な大会となったが、詳細については次回で報告するが、コース借用料も基本となる550万円を含めて総額では1,600万円をお支払いすることが出来る見込みであると、この大会の収支の概算を報告、また大会は初日の雨で何ホールかカップの位置を変えたが、それ以外はすべて順調で、大会4日間の入場者も実数で18,000人を越したが、これは今までの関東オープンでも最高の入場者であるとの説明があり、全員これを了承した。

##### 2. 59年度競技日程編成の件

福田競技委員長より59年度主催競技日程案について説明があり、開催コースが未定の競技について討議、クラブ対抗決勝については松浦常務理事が習志野での開催を快諾、関東ジュニア選手権決勝については武藏カントリークラブに打診中であるとの報告があった。

なお、佐藤常務理事より栃木県のクラブ対抗予選を2ヶ所で行うことになったが、その場合の決勝進出チーム数について質問があり、これは10月中旬に開催する

# 理事会・委員会

競技委員会で再検討する旨の説明があった。また、木村常務理事より関東オープンの賞金総額が未だに2,000万円だが、他のトーナメントは3,000万円から5,000万円になっているとき、他地区オープンとのかね合いがあるとしてもいささか淋しく、この際、他地区オープンとは別格と考えて良いのではないか…との提案があり、福田委員長はここ数年、関東オープンも剩余金が出ているが、実質的には累積赤字が1,200万円もあることなので、予算とも対応することもあり、再検討することを約した。

## 3. グリーン研究所の件

木村グリーン委員長より、前回の理事会で提案したグリーン研究所の設置について、今回は具体的な計画案を提出、これにもとづいて説明があり、これに対して種々意見が交換されたが、結局、細川理事長は研究所設置は連盟の将来にも大きく影響する重大な問題なので、このための臨時の委員会を設けて細かく煮つめるようにしていかが……と提案、全員異議なくこれに賛成し、委員の指名は理事長に一任することを決めた。

## 4. 各委員会報告の件

### ★ハンディキャップ委員会

武内委員長より、JGAハンディキャップ規定の未実施クラブは連盟加盟クラブの中約3分の1に達するが、委員会としては5月から各県別に説明会を開催し、普及実施に務めており、すでに群馬、山梨、茨城、埼玉、神奈川、栃木の説明会を終って相当の反響があったこと、及び千葉県に関しては県選出理事と縦密な打合せの上、これから実施すること、更に先程実施したハンディキャップのアンケートを集計し、これを委員会で再検討を加え、今後の活動方針を決めたいと報告があった。

統いてコースレート査定の実施状況について報告を行った。

### ★ジュニア委員会

松野委員長より、8月22日(月)にノーザン錦ヶ原で開催した夏季ジュニア初心者教室は参加者72名、講師には西田升平、岩瀬邦夫、河野広行の3人のプロにジュニア委員10名がついて午前中は練習場にてレッスン、午後はれんげコース9ホールのラウンド・レッスンを実施、僅か1日だけの教室だったが、ゴルフとはこういうものだということをわかってもらうことに重点を置いたと報告。

ジュニア競技に対するとかくの風評については、昨

年度に多勢の参加者の中に1~2の不心得者がいた事は確かだが、それでジュニア全体をそのように決めつけた新聞報道は、まさに興味本位の遺憾な記事であり、本年度は各組4人全部が各ホール終了毎にスコアを確認することを実施、委員も各ホールに配置してチェックするなど厳しい運営でそういった問題は一切起らなかったが、ジュニア競技は一般的な競技と違って育成指導という役割が大きく、今後も時間とかけてやってゆきたいと説明があった。

## 5. 入会申請クラブの件

下記クラブの加盟を承認。これで連盟加盟クラブ総数は35クラブとなった。

佐久平カントリークラブ  
飯能パークカントリークラブ

## 6. その他

細川理事長より、勝山理事の文書による競技参加費等に関する大変結構なご意見をいただきましたが、予算の面でもう一度洗い直す必要がありますので、年度毎に新たに予算委員会を設け、そこでくわしく検討しては如何…と提案、全員異議なくこれに賛成、委員の人選については理事長に一任した。

最後に藤原常務理事と青木理事より、長野県の35のゴルフ場を代表し、関東オープンで大成功を収めた御礼のあいさつがあった。  
以上

## ★競技委員会

6月15日(火)正午よりJGA会議室に福田委員長以下19名の委員が参加して本年度第2回委員会を開き、次の事項を討議した。

- ① 明年度連盟競技日程について討議し、開催日程、及び開催クラブ、実施規定等の日程編成案を作成。
- ② 本年度関東オープンの準備状況について報告があり、これを了承。

③ シニア、及び女子の連続出場表彰の内規を検討した。

### ★ハンディキャップ委員会

#### 地区普及活動

#### 茨城県北地区ハンディキャップ説明会

6月23日、宍戸国際で開かれた県北支部入会の席に武内委員長と矢野事務局長が出席、山崎亥生年理事のあいさつの後、JGAハンディキャップの普及実施を要望した。

#### 埼玉県ハンディキャップ説明会

6月30日、武藏カントリークラブ豊岡コースに県下

加盟クラブのハンディキャップ委員長を招集、午前9時から1ラウンドのプレー終了後、武内委員長、及び矢野事務局長よりJGAハンディキャップの実施上の諸問題を討議、未実施の2~3クラブには早急に実施するよう要請した。

#### 神奈川県ハンディキャップ説明会

小林金太郎理事の呼びかけで8月5日正午に神奈川県下加盟クラブのうち、JGAハンディキャップ未実施8クラブの説明会を開いたが、出席者は相模、相模原の2クラブだけ、武内委員長、小林理事とヒザを交えて話し合いを行ない、両クラブとも協力を約して散会した。

#### 栃木県ハンディキャップ説明会

8月12日(金)午後2時より宇都宮カントリークラブに県下加盟クラブの委員長と支配人48名が集まり、地元から佐藤和三郎理事に吉沢兵佐、杉本忠男両委員が出席、連盟から武内委員長と矢野事務局長が出張してJGAハンディキャップ実施についての諸問題を説明、全クラブ揃っての実施を要望した。

#### コースレート査定

## 1. 上毛高原、那須野ヶ原、鹿沼、茨城パシフィックコース・レート決定の件

#### 上毛高原カントリー倶楽部(5月31日査定)

沼田・白沢  
「バック・ティ」「ペント・グリーン」 70.4  
「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」 69.2

白沢・老神  
「バック・ティ」「ペント・グリーン」 68.4  
「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」 67.4

老神・沼田  
「バック・ティ」「ペント・グリーン」 69.3  
「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」 68.2

#### 那須野ヶ原カントリークラブ(6月7日査定)

浮間・那珂川  
「バック・ティ」「ペント・グリーン」 71.2  
「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」 68.6

「バック・ティ」「高麗グリーン」 72.0  
「レギュラー・ティ」「高麗グリーン」 69.2

那珂川・那須  
「バック・ティ」「ペント・グリーン」 70.8  
「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」 68.7

「バック・ティ」「高麗グリーン」 71.9  
「レギュラー・ティ」「高麗グリーン」 69.5

#### 那須・浮間

「バック・ティ」「ペント・グリーン」	71.1
「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」	68.8
「バック・ティ」「高麗グリーン」	72.0
「レギュラー・ティ」「高麗グリーン」	69.3

#### 鹿沼カントリー倶楽部(6月8日査定)

南アウト・イン	
「バック・ティ」「高麗グリーン」	71.3
「バック・ティ」「ペント・グリーン」	71.1

#### 南アウト・北アウト

「バック・ティ」「高麗グリーン」	71.4
「バック・ティ」「ペント・グリーン」	70.7

#### 南アウト・北イン

「バック・ティ」「高麗グリーン」	71.1
「バック・ティ」「ペント・グリーン」	70.5

#### 黄金・南アウト

「バック・ティ」「高麗グリーン」	70.8
「バック・ティ」「ペント・グリーン」	70.1

#### 黄金・南イン

「バック・ティ」「高麗グリーン」	70.6
「バック・ティ」「ペント・グリーン」	70.4

#### 南イン・北アウト

「バック・ティ」「高麗グリーン」	71.2
「バック・ティ」「ペント・グリーン」	71.1

#### 南イン・北イン

「バック・ティ」「高麗グリーン」	70.9
「バック・ティ」「ペント・グリーン」	70.8

#### 茨城パシフィックカントリー倶楽部(6月16日査定)

「バック・ティ」「ペント・グリーン」	72.5
「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」	69.6
「バック・ティ」「高麗グリーン」	71.9
「レギュラー・ティ」「高麗グリーン」	69.1

## 2. 査定スケジュールの件

- ① 昇仙峡カントリークラブ 8月24日
- ② 相武カントリークラブ 8月25日
- ③ 菊川カントリークラブ 8月29日
- ④ ミナミ菊川カントリークラブ 8月30日
- ⑤ 館山カントリークラブ 9月22日
- ⑥ ロイヤルオークカントリー倶楽部 9月29日
- ⑦ 宍戸国際カントリークラブ 10月7日
- ⑧ 津川カントリークラブ 10月18日
- ⑨ 芦の湖カントリークラブ 10月20日
- ⑩ オークヒルズカントリークラブ 10月27日

# 理事会・委員会

## 58年度コース・レート査定の件（第3信）

下記の通り、コース・レート査定を実施致しますので、ご出欠をお知らせ願います。

記

### 相武カントリー倶楽部

8月25日(木) 18H 8時30分集合 9時スタート

### 菊川カントリークラブ

8月29日(月) 18H 9時30分集合 10時スタート

### ミナミ菊川カントリークラブ

8月30日(火) 18H 7時30分集合 8時スタート

### 館山カントリークラブ

9月22日(木) 27H 7時30分集合 8時スタート

### 昇仙峡カントリークラブ

9月29日(木) 27H 8時集合 8時30分スタート

### 宍戸国際カントリークラブ

10月7日(金) 27H 9時集合 9時30分スタート

### 津川カントリークラブ

10月18日(火) 18H 7時30分集合 8時スタート

### 芦の湖カントリークラブ

10月20日(木) 18H 8時30分集合 9時スタート

### オーケヒルズカントリークラブ

10月27日(木) 18H 8時集合 8時30分スタート

## ★月例競技委員会

6月24日(金)正午よりJGA会議室に福田委員長以下9名の委員が出席して第3回委員会を開き、59年度月例競技日程等について検討した。

7月28日(木)正午にはJGA会議室に福田委員長以下7名の委員、及び2名の女子当番、学連1名が参加して第4回委員会を開催し、前月に引き続き月例日程等を討議した。8月20日(土)午前10時30分よりJGA会議室に福田委員長以下8名の委員、2名の女子当番が出席して第5回の委員会を開き、明年度日程の検討、なお次回の月例のテーマは「プレーヤー同志のあいさつの励行」と決めた。

## ★広報委員会

7月21日(木)正午よりJGA会議室に武内委員長以下4名の委員が参加して本年度第2回委員会を開き、KGAニュース第4号の編集について打合せを行った。

## ★グリーン委員会

8月1日(金)正午よりJGA会議室に木村委員長以下10名の委員、及び江原顧問が参加してグリーン研究所の設立について討議、具体的な設立費用、運営予算等を検討することとし、統いて8月18日(木)には木村委員長、古賀副委員長、江原顧問がこの打合せ会を開いた。

## ●お知らせ●

### クラブ代表者変更

理事長変更		クラブ名		クラブ代表者		クラブ名		クラブ代表者	
藤岡ゴルフ倶楽部	(新) 空 席	高木 淳	(新) 天野 奈治	新里カントリー倶楽部	(旧) 佐 一郎	高木 進	(旧) 南野 宏	新里カントリー倶楽部	(新) 川西 浩
白河高原カントリークラブ	(新) 佐 古 一	(旧) 佐 一郎	(新) 佐 古 一	相模原ゴルフクラブ	(新) 血 猛	(新) 吉 福 喜	(旧) 佐 一郎	相模原ゴルフクラブ	(新) 川西 浩
戸塚カントリー倶楽部	(新) 日比野恒次	(旧) 佐 一郎	(新) 日比野恒次	宇都宮カントリークラブ	(新) 佐藤和三郎	(新) 伊 藤 修	(旧) 佐 一郎	宇都宮カントリークラブ	(新) 佐藤和三郎
相模原ゴルフクラブ	(新) 血 猛	(旧) 佐 一郎	(新) 血 猛	湘南シーサイド	(新) 平 田 雄	(新) 伊 藤 修	(旧) 佐 一郎	湘南シーサイド	(新) 平 田 雄
吾妻高原ゴルフクラブ	(新) 小 計 二	(旧) 佐 一郎	(新) 小 計 二	カントリー倶楽部	(新) 村 上 順	(新) 伊 藤 修	(旧) 佐 一郎	カントリー倶楽部	(新) 村 上 順
民報コース	(新) 坪 井 學	(旧) 飛 島 定城	(新) 坪 井 學	日光カントリー倶楽部	(新) 加 藤 武 彦	(新) 吉 原 武	(旧) 飞 島 定城	日光カントリー倶楽部	(新) 加 藤 武 彦
宇都宮カントリークラブ	(新) 佐藤和三郎	(新) 佐藤和三郎	(新) 佐藤和三郎	俱楽部電話番号変更	唐沢ゴルフ倶楽部	ミニマ菊川カントリークラブ	(新) 0283-24-2525	唐沢ゴルフ倶楽部	ミニマ菊川カントリークラブ
城山カントリー倶楽部	(新) 中 尾 幸 雄	(新) 中 尾 幸 雄	(新) 中 尾 幸 雄	俱楽部電話番号変更	(新) 0283-4-2525	(新) 0283-4-2525	(新) 0283-4-2525	俱楽部電話番号変更	(新) 0283-4-2525
				俱楽部名称変更		(新) 0283-4-2525	(新) 0283-4-2525	俱楽部名称変更	(新) 0283-4-2525

# 月例競技成績表

(昭和58年6月～58年8月)

[6月月例] 出場 男子126名 6月22日(水) 霧ヶ間カントリー倶楽部(西コース)  
(男子)

氏 名	ク ラ ブ	第1ラウンド			第2ラウンド			合 計	順 位
		アウト	イン	計	アウト	イン	計		
内 藤 正 幸	桜 ケ 丘	34	36	70	35	37	72	142	1
並 木 秀 秀	日 大	38	38	76	37	34	71	147	2
下 井 昌 史	日 大	36	38	74	35	39	74	148	3
阪 田 哲 男	袖 ケ 浦	36	40	76	37	37	74	150	4
森 茂 则 則	セ ン ト ラ ル	37	36	73	38	39	77	150	4
(以上入賞)									
内 山 健 司	青 梅	39	38	77	37	37	74	151	6
志 村 幹 鋼	大 洗	37	38	75	36	40	76	151	6
中 新 村 雅	大 葉	43	39	82	33	36	69	151	6
小 川 透	チ サ ン	36	41	77	38	36	74	151	6
大 出 正 義	チ サ ン	39	37	76	36	40	76	152	10
岡 田 光 正	新 葉	37	38	75	39	38	77	152	10
上 代 修	山 山	38	37	75	37	40	77	152	10
桜 本 隆	山 純	42	38	80	35	37	72	152	10
前 宮 敏	沼 志	36	41	77	37	38	75	152	10
宮 伸 俊	野 舞	39	37	76	38	39	77	153	17
橋 三 浩	鶴 嵐	38	40	78	38	37	75	153	17
富 永 滋	水 戸	37	37	74	39	40	79	153	17
根 優	模 原	41	38	79	37	37	74	153	17
石 田 治	山 台	37	37	74	40	40	80	154	21
沢 行	大 城	39	41	80	37	37	74	154	21
加 木 二 行	山 城	37	43	80	39	35	74	154	21
高 橋 明 広	山 乘	35	40	75	42	37	79	154	21
瀬 武 宣	大 専	41	40	81	37	36	73	154	21

(注) 4月例プレー・オフの佐久間徹二、富永浩氏は富永浩氏が優勝しました。

コースレート 71.8

(女子) 出場 女子39名 6月21日(火) 飯能ゴルフクラブ

氏 名	ク ラ ブ	アウト	イン	アウト	イン	アウト	イン	アウト	合計	順 位
渡 辺 恵 子	高 根	40	37	39	116	1				
高 橋 良 江	東 京 国 際	40	39	38	117	2				
(以上入賞)										
福 井 美 保	GMG八王子	39	42	38	119	3				
尾 久 江 武	武 藏	40	43	40	123	4				
佐 々 木 聰 子	烏 山 城	42	41	40	123	4				

コースレート 70.3

(7月月例) 出場 男子70名 7月20日(水) 相模原ゴルフクラブ(東コース)

(男子)

氏 名	ク ラ ブ	第1ラウンド			第2ラウンド			合 計	順 位
		アウト	イン	計	アウト	イン	計		
森 茂 則	セ ン ト ラ ル	36	35	71	34	36	70	141	1
鳴 田 憲 人	梅 丘	36	38	74	34	39	73	147	2
内 友 雄	塩 原	36	36	72	39	37	76	148	4
大 田 光 正	山 岩	37	40	77	36	37	73	150	5
岡 田 哲 俊	鶴 舞	38	37	75	39	36	75	150	5
阪 田 哲 俊	那 須 小 川	38	36	74	36	40	76	150	5
高 船 明 船	(以上入賞)								
大 竹 一 出	微 根	35	36	71	42	38	80	151	9
小 田 嘉 一	姉 嶺	37	42	79	35	38	73	152	10
根 本 太 茂	飯 戸	36	37	73	39	40	79	152	10
能 柴 良 茂	水 戸	39	38	77	38	37	75	152	10
新 田 代 昌	東 京 よみうり	36	41	77	39	37	76	153	14
安 田 間 章	千 叶 葉	42	39	81	35	37	72	153	14
吉 田 八	新 千 葉	35	38	73	42	38	80	153	14
田 代 昌 邦	東 京 湾 中	34	37	71	41	41	82	153	14
安 吉	東 府 中	39	37	76	39	38	77	153	14

-27-

# 月例競技成績表

(昭和58年6月～58年8月)

(男子)

氏名	クラブ	第1ラウンド			第2ラウンド			合計	順位
		アウト	イン	計	アウト	イン	計		
小川透	岡部チサン	39	41	80	37	37	74	154	19
大久保蕃	桜ヶ丘	37	40	77	39	38	77	154	19
桜本隆	総善	37	36	73	42	39	81	154	19
中野弘	美善	37	37	74	40	40	80	154	19
原継雄	木厚	39	38	77	37	40	77	154	19
山本幸	浦原	38	37	75	38	41	79	154	19
池谷原	相模	38	36	74	42	39	81	155	25
柿井恒	中原	40	38	78	39	38	77	155	25
並木一	坂中	40	38	78	39	38	77	155	25
森正隆	大藏	37	39	76	40	39	79	155	25
		39	39	78	41	36	77	155	25

コースレート 73.0

(女子) 出場 女子32名 7月18日(月) 東京国際カントリー倶楽部

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
						長谷	睦子	立川	国際	40	45
鈴木エツ	大賀野	40	39	118	1	立川	国際	40	45	39	124
遠藤智子	戸塚	39	41	120	2	正木英子	立川国際	42	41	41	124
(以上入賞)						松本京子	日体大	42	40	42	124
斎藤美樹	甘楽	42	39	121	3	黒沼カホル	烏山城	42	42	42	126
中田朱美	袖ヶ浦	41	40	122	3	豊井キヨエ	府中	40	41	45	126
杉田千多歌	GMG八王子	40	42	123	5	福井美保	GMG八王子	42	42	42	126
村田トシ子	鎌ヶ谷	41	40	123	5	山本明子	新千葉	43	40	43	126

コースレート 68.6

[8月月例] 出場 男子71名 8月18日(木) 千葉カントリークラブ(野田コース)

(男子)

氏名	クラブ	第1ラウンド			第2ラウンド			合計	順位
		アウト	イン	計	アウト	イン	計		
宮里佑文	飯能	34	41	75	34	37	71	146	1
工藤久一	大能	34	36	70	38	40	78	148	2
田辺嘉辰	飯武	36	37	73	37	40	77	150	3
浅川辰和	飯蔵	38	38	76	34	39	73	+2 151	4
伊藤新	千葉	38	38	76	37	38	75	151	4
大出正	新日	39	37	76	35	40	75	151	4
加藤正雄	日府	39	38	77	37	37	74	151	4
柿並木	中大	40	35	75	39	37	76	151	4
(以上入賞)									
小出一憲	堺	40	36	76	41	36	77	153	10
鷲田青	梅根原	38	39	77	41	35	76	153	10
堀越	相模	39	38	77	36	40	76	153	10
岡田光	嵐山	37	41	78	37	39	76	154	13
桜田本	南	39	38	77	40	37	77	154	13
田中泰	下船	36	40	76	39	39	78	154	13
額森貢	船橋	38	40	78	36	40	76	154	13
佐久間	セントラル	36	43	79	35	40	75	154	13
新代村	千葉	38	39	77	38	40	78	155	18
根本見	新水	43	36	79	41	35	76	155	18
高初	大利	41	37	78	39	38	77	155	18
高梨	櫻根	39	37	76	40	38	78	+2 156	23
高能	セントラル	41	38	79	39	38	77	156	23
中村雅	大根	39	39	78	40	38	78	156	23
能川茂美	戸塚	40	39	79	40	37	77	156	23

コースレート 72.0

(女子) 出場 女子36名 8月19日(金) 芙蓉カントリー倶楽部

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
						田辺アキ	飯能	38	41	39	118
福井美保	GMG八王子	37	39	38	114	吉沢キミ子	高根	41	40	37	118
吉沢キミ子	セントラル	40	39	35	114	(以上入賞)					6
近藤信子	富士ロイヤル	35	42	39	116	菅谷明子	成城	38	42	39	119
鈴木エツ	大賀野	40	39	37	116	松本京子	日体大	37	44	38	119
村井利恵	日体大	36	41	39	116	大川則子	鹿沼	72	35	44	122

コースレート 67.2

(注) 福井美保、吉沢キミ子氏はタイスクアの為9月例にてプレーオフを行います。

昭和58年9月20日発行

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内I-I-I TEL.(03)215-0511

編集 広報委員会 発行人 細川謙貞